

りょう

ふう

# 涼風



頭の病気で倒れないために

No.14 : 2003年秋号

医療法人社団 涼風会

佐藤脳神経外科



## 淡水魚水槽 その①

秋風に乗って青空を流れる淡い雲を見上げて、あれやこれやと想像力を磨く此の頃ですね。今回は、最近ちよっぴりはまってる、かわざかな（淡水魚）の水槽をみなさんにご紹介致します。

カラフルなバーマークのオイカワ、いかつい顔のカワムツ、一本すじの通ったムギツク、銀色斑点のズナガニゴイ、川底を漁るカマツカとシマドジョウ、流れに耐える岩肌のヨシノボリ、すらり清ました青銅色の年魚アユなどなど。冷水の水槽を所狭しと泳ぐかれらの姿に暫し時を忘れて見入っている。

子供の頃、前の小川や田んぼ、用水路や溜池に出かけては、メダカ、カダヤシ、ドジョウ、フナ、ドンコ、果ては雷魚やうなぎ、イモリやザリガニなどよく採って帰ったもんだった。家の池の水換えで、バケツ2杯のザリガニを塩茹でし醤油味で堪能したことを覚えている。そういえば、ドンコもウシガエルも食ったような記憶がある。

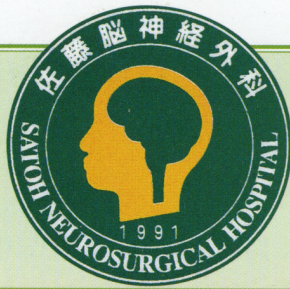
でも、川の中流・上流には一味違ったいろいろな淡水

魚がまだまだ生息している。釣りはやらないけど、投網打って雑魚を生け捕りする。浅瀬を潜って、砂地に埋もれたカマツカを探す。目玉の部分だけを覗かせて、しっぽが枯れ木のように埋もれて、隠れてるつもりの奴さんを、そのまま一瞬で押さえつけてゲットする。すぐ隣に2~3匹隠れたつもりの仲間が見つかることもある。岩場に潜り込んだズナガニゴイを指に挟んで逃がさないように引っ張りだす。素手で握り取るあの感触は独特で病みつきになる。

生け簀網からクーラーボックスに移して、エルバージュ混ぜてエアポンプを廻して持ち帰る。恐る恐る蓋をあけて、ああ、いっぱいこと「うとおとる」。試行錯誤、コンビニの水袋をそのまま突っ込んで冷却することで、このごろはやっと生存率99%が確保できている。

自然のなかで、命の尊さと生まれ育つ環境の大切さをふと思い起こすひと時である。載いた命だから、たくましく、しぶとく生きなくっちゃ。

医療法人社団 涼風会  
**佐藤脳神経外科**  
 〒729-0104 福山市松永町5-23-23  
 tel 084-934-9911 fax 934-9910



♪ 脳神経外科・神経内科  
 放射線科・リハビリテーション科  
 ♪ 通所リハビリ デイケア 帆かけ舟  
 ♪ 脳ドックセンター“3次元立体写真館”

涼風会メニューのご紹介 ⑨

## デイサービス “ぽかぽか”



一般浴

泡の出る銭湯の様な浴槽



特殊浴



個風呂

寝たまま入れる特殊浴



みんなで楽しむ風船ゲーム

普段使わない動きで楽しくリハビリ



体操



レクリエーション

入浴を中心とした通所介護です。浴室には、個風呂とブクブク泡の出る大きな一般浴、そして特殊浴があります。一般浴では、手すり・滑り止め・スロープや短い階段を利用することで、安心してリハビリを行うことができます。

体も心も“ぽかぽか”と温まって、ゆっくりとくつろいでもらえたらいいなと思います。ゆったりとした安らぎの“ぽかぽか”をこれからもどうぞ宜しくお願い致します。